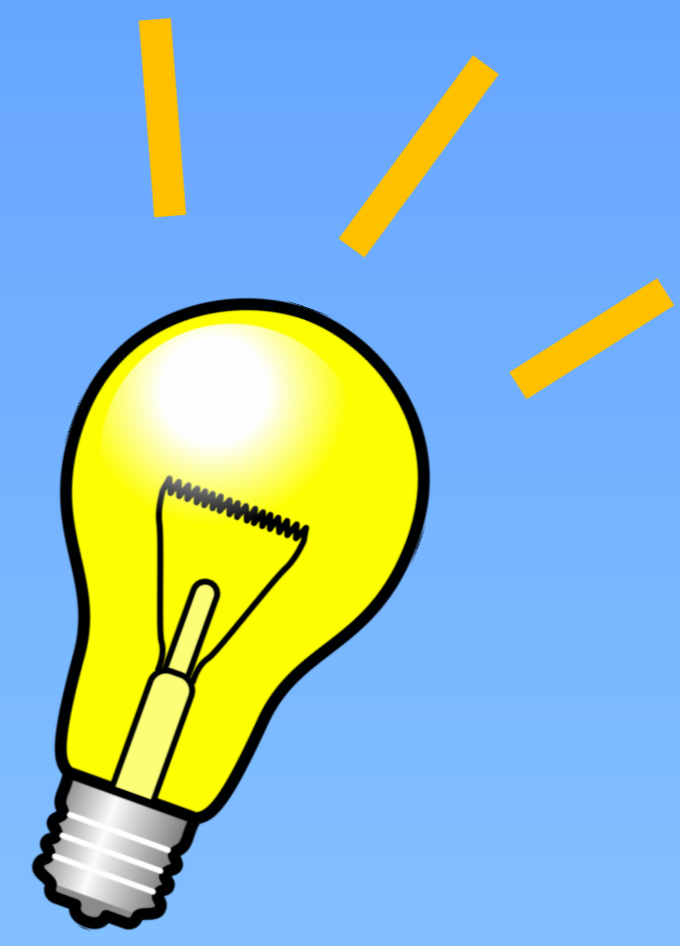




中部電力

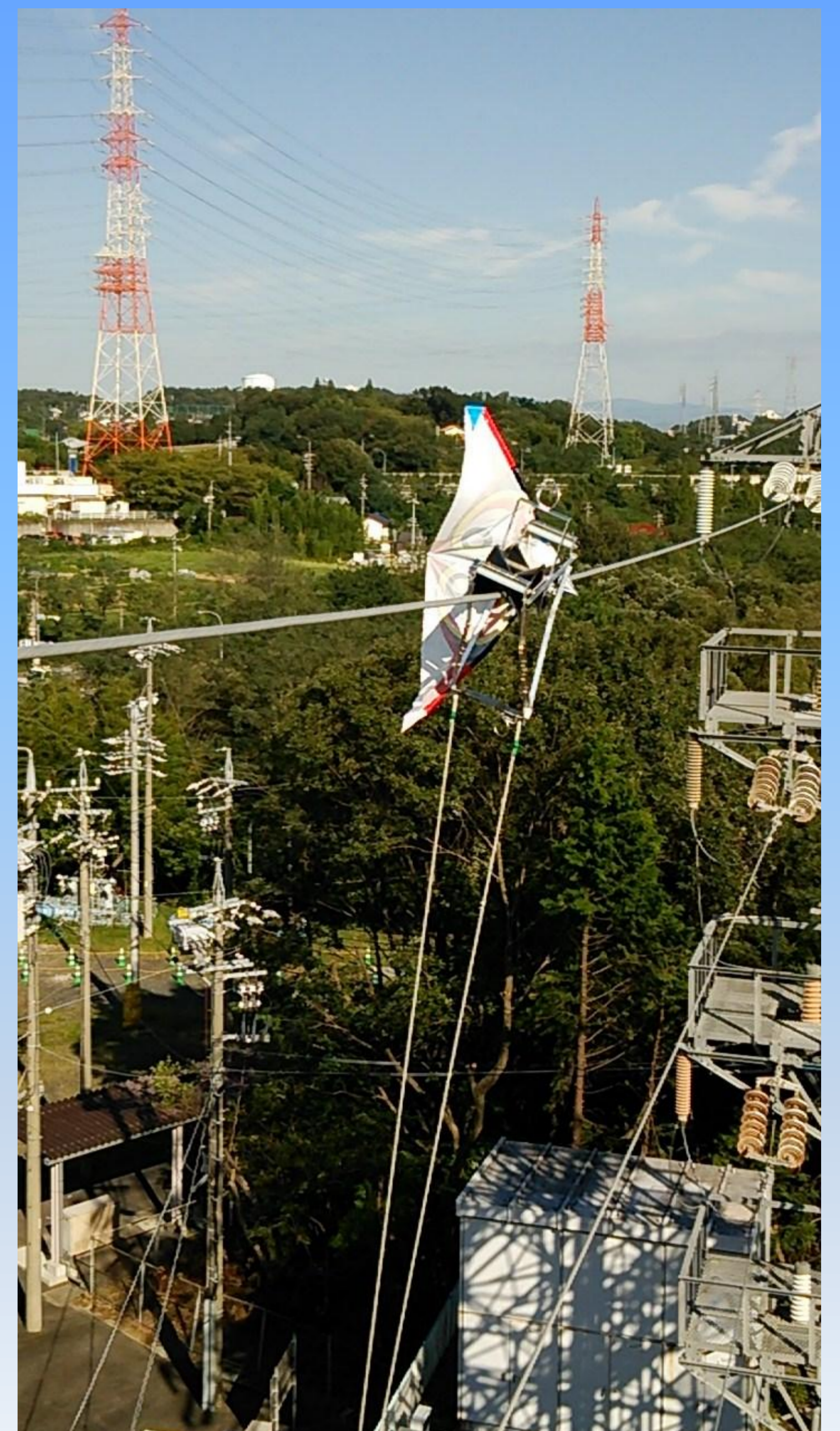
特許1件

出願中



架空送電用汎用型凧取器

送電線にからまった 凧を除去します。



従来品

背景・目的

- 凧取器は、送電線にからまった凧などを電気を止めずに除去する工具ですが、これまでの凧取器は重く作業性が悪い、不安定で脱輪しやすいなどの欠点がありました。
そこで、これらの欠点を解消し、作業性・安全性を向上させた汎用型凧取器を開発しました。

特長

- 作業性・安全性が向上（作業時間は従来品に比べ100分→60分）
 - ①電線に取り付けられている付属品（ダンパ）の乗越方法を改善することで、スムーズな走行性を確保しました。
 - ②構造を根本的に見直したことで、強度を確保しつつ、軽量化を達成しました。（△2kg）
 - ③糸切り刃の改良により、凧糸の切断性能が向上しました。

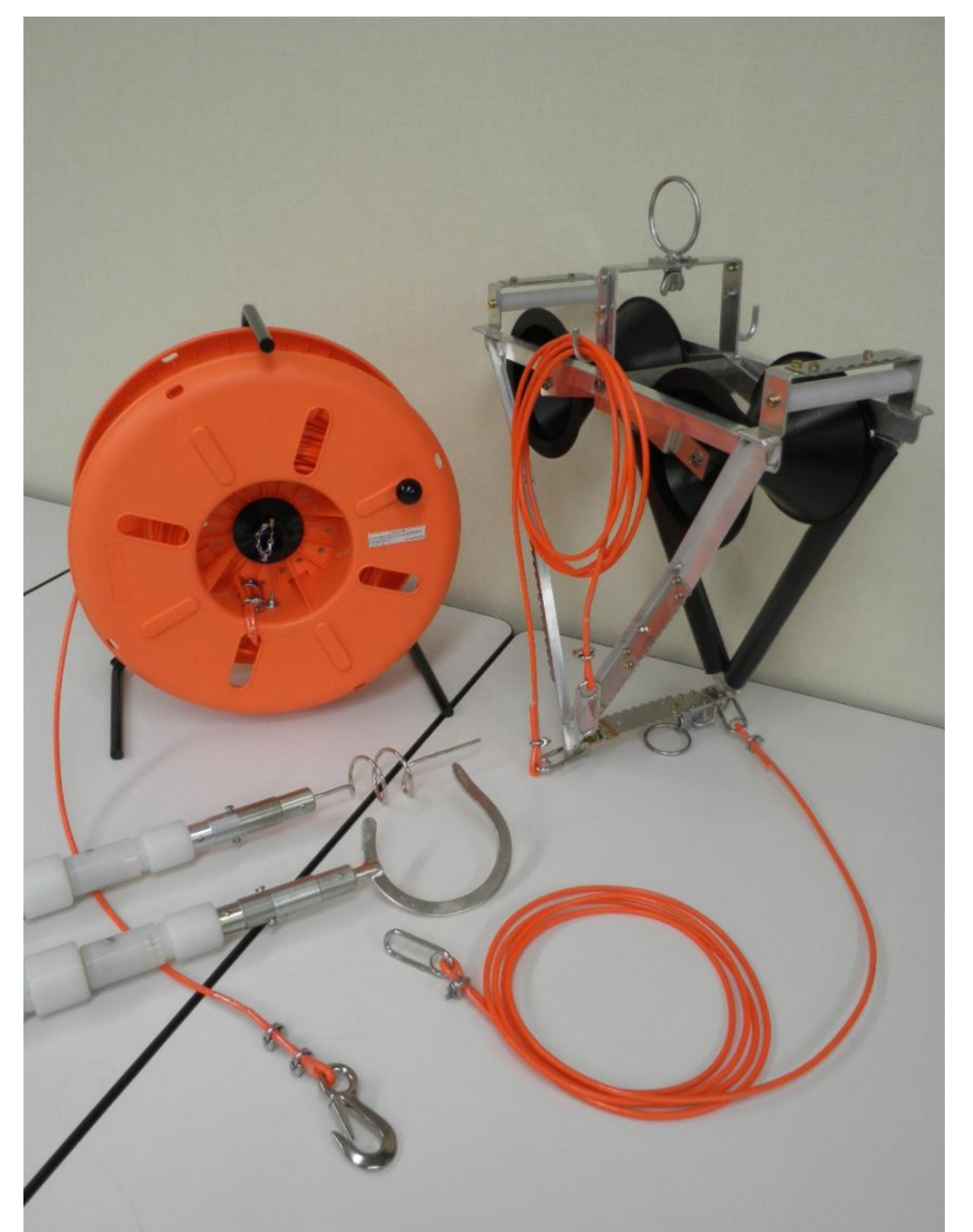
用途

- 無停電で電線にからまった凧などを除去します。



【従来品からの主な改良点】

- ①ダンパ乗越方法の改善（ローラ部機構の改善）
- ②全体構造のコンパクト化（軽量化）
- ③ローラの軽量化（材質の変更 樹脂を採用）
- ④切断性能の向上（糸寄せ刃+切断刃の2枚刃を採用）
- ⑤開閉機構の変更（スナッチロック機構+トルクヒンジを採用）
- ⑥付属工具の開発（スパイラル機構の吊下げ工具、背負い袋を開発）



開発者の
ひとこと

汎用型凧取器の開発にあたってはダンパの乗越方法が一番の課題でしたが、試行錯誤を繰り返した結果、ローラ部にシーソーの原理を採用することで、この問題を解決しました。
これにより、全体の構造をコンパクト化でき、細部にわたる改良も重ね、作業性・安全性を大きく向上させることができました。